

生田緑地自然環境保全管理会議ニュースレター

■議事概要

◇日時：令和5(2023)年3月21日(火・祝) ◇場所：かわさき宙と緑の科学館 学習室1
 ◇参加：12名
 ◇議題：1. 令和5(2023)年度 新会長・副会長の選出 2. ハンノキ林ナラ枯れ伐採作業について

1. 令和5・6(2023・2024)年度 新会長・副会長の選出

2年タームで新会長・副会長を選出しており、令和5・6年度における役員の互選を行い、以下のように決定しました。

会長：(NPO) かわさき自然調査団理事 岩田臣生氏

副会長：日本緑化工学会生物多様性緑化研究部会 井口氏
 かわさき宙と緑の科学館 学芸員 高中氏



2. ハンノキ林他 ナラ枯れ伐採作業について

川崎市委託作業において、ハンノキ林で2月下旬にナラ枯れ木伐採を行った際、当該地活動団体の保全方針と異なる伐採後の状況が確認され、ハンノキ林以外の場所についても今後の作業の留意事項を確認しました。

現時点で対応すること

今回の案件を次に生かすために、川崎市は指定管理者と協力し以下を遵守していきます。

- ✿ 現地打合せは、伐採する対象木が決まっている状態で、当該地活動団体・川崎市及び指定管理者担当者・実際に作業を行う業者の3者が同時に協議できるよう配慮します。
- ✿ 作業内容が変更した場合も、上記のように現地打合せを行うよう配慮します。
- ✿ 特に重点箇所については、一括の作業ではなく個別の対応を検討します。
- ✿ 委託業者に今後もどうフィードバックできるか検討していきます。

また、ハンノキ林以外の東口-枳形山間で行った作業について、希少種のある場所及び集積材が崩れる危険が想定される場所に材が置いてあるので川崎市が対応していきます。

中長期視点で対応すること

方針

- ✿ ハンノキ林は里山倶楽部が伐採を行います。
- ✿ 今年度多く議論された“生田緑地が特別な場所だ”という認知普及”を自然会議として行っていきます。

以下、出た意見です。

- ✿ 作業の認識について、単発の伐採と捉えるのではなく、雑木林再生という認識が大切。
- ✿ 川崎市には、ナラ枯れに限らずプロセスを仕様書に記載する等のガイドラインを、自然を理解した職員とぜひ作ってほしい。
- ✿ 世界的な生物多様性目標 30by30（サーティ・バイ・サーティ：陸地と海の30%ずつを保全する）※に向けて都市の中で生田緑地が担う役割は大きい。

※参考：環境省HP→



報告

1. 現在のナラ枯れ状況

令和5年度も通行止めエリアが設定されました。エリア内に関係者が調査等で立ち入る際は、腕章やヘルメットを着用する等、川崎市及び指定管理者が運用方法を決定していきます。

2. 里山倶楽部 令和4(2022)年度報告 と 令和5(2023)年度抱負

里山倶楽部は、自然会議の下、お子様からご年配の方までどなたでもご参加いただける里山保全活動です。1年を通して雑木林の生きもの達に出会える他、春夏はササ刈り・外来種除草やアズマネザサ刈り、秋冬は雑木林更新（大径木の伐採）をメインに活動中。令和4(2022)年度はハンノキ林東地区の伐採を進めました。

土曜日活動中！

